

おはようございます。 会派「誠流」の吉田でございます。

まず、平成22年の8月、共に初当選を果たし、同じ会派で議員活動を開始した、故島田一朗議員のご冥福とその御霊の安らかならんことをお祈り申し上げます。

例年ですと3月上旬においてはまだ雪が残り、春訪れが待ち遠しいのですが、今年の冬は記録的な暖冬となりました。これも異常気象の一つでありまじょうが、農産物の生育に悪影響のないことを願いたいと思っております。

本日の質問は会派「誠流」を代表し、一括質問にて通告に従い質問させていただきます。

本日の質問は、大きな括りとして2つのテーマに分かれます。

- 1、小矢部市第6次総合計画後期実施計画について
- 2、平成26年度予算案について

平成26年度はいろんな点において、非常に重要な転換期となる年であります。

本定例会の初日には、桜井市長から「提案理由説明」がありましたが、今回質問させていただき「第6次総合計画後期実施計画」と「平成26年度予算案」に対しては、特別な想いを持っており組んでいると感じております。

第6次小矢部市総合計画後期実施計画の初年度に「おやべの未来想像積極予算」を編成された桜井市長の所信をお聞かせいただきたいと思っております。

《 参 考 》

3つのまちづくり基本テーマ 追加テーマ 小矢部ルネサンス

さらなる飛躍に向けて

6つのまちづくり目標 追加目標 未来創造のための主な取り組み

人口増のための主な対策

「義仲・巴」大河ドラマ誘致など

観光・情報発信への主な取り組み

小矢部市第6次総合計画後期実施計画についてお尋ねいたします。

平成26年度からの5カ年、31の政策分類、128の事業、総額225億円
力強く打ち出された後期実施計画の目指す処の目標について、5年後の結果数字で示す
ものはなにか？どのように検証しようとするのか？

《 参 考 》

「都市データパック」の指標や順位を目標にしてはどうか

平成26年度予算についてお尋ねします。

新規事業として「新子育て支援施策調査事業」というのがありますが、
3年前から実施している現行の定住促進対策事業によって、平成25年のデータですが、
社会動態における転入は661名、転出は677名となりました。過去10年を比較検討す
ると、現行の定住促進対策は社会動態において画期的な成果をあげていると言えます。
さらに期待したいのは自然動態、生まれる子供の数を増やす政策です。

わたしはかねてから、定住促進と子育て支援の一体的な施策が必要であると主張して
きました。県内でもトップレベルにある子育て支援策を、定住促進に結び付けてアピー
ルすることを提案してきたのですが、ここへきて県内他市の取り組みがクローズアップ
され、小矢部市の子育て支援策が他市に比べて訴求力の薄いものになってしまったので
はないかと思っています。保育料の事については2年前にも提案したのですが、「同時
入所の場合は二人目の保育料は無料に」このことを改めて提案させて頂きたい。当時、
林民生部長からこの施策の実現に必要な財源は、2640万円と答えていただいたの
ですが、世帯所得などを無料とする際の要件とすれば、2000万円くらいの財源で実施
可能でないかと考えます。

《 参 考 》 暦年データ

平成22年	出生 218 人	死亡 380 人	結婚 160 組	転入 497 人	転出 645 人
平成23年	出生 174 人	死亡 410 人	結婚 133 件	転入 540 人	転出 635 人
平成24年	出生 199 人	死亡 445 人	結婚 122 組	転入 551 人	転出 697 人
平成25年	出生 193 人	死亡 407 人	結婚 143 組	転入 661 人	転出 677 人

現在の定住促進施策は、人口の自然増 出生数の回復には未だ効果を発揮していない。結婚を控えた世代に選んでもらえるような「結婚活動支援」「定住促進政策」「子育て支援策」が必要です。共に働いて子供を産み育て、しっかりと家庭を築いて行こうとする若い二人が、「小矢部市に住もう」と決心してくれるようにと思い、子供の成長に合わせてサポートする体制を考えてみました。

- 1 結婚活動を支援
- 2 新婚世帯の家賃を補助。不妊治療費助成。
- 3 家を建てたり改修したら補助 安価で良質な賃貸住宅や分譲宅地の供給
- 4 子供が生まれたら米一俵
- 5 保育園に二人目が同時入所なら、二人目の保育料は無料。待機児童なし。
- 6 小学校は2年生まで30人学級
- 7 中学3年生まで医療費は無料

新婚家庭のライフサイクルを切れ目無くサポートする「子育て支援日本一のまち」このフレーズが、子育て世代へのメッセージとして売り込むことが肝心である。

子育て世代を対象とした保育料のさらなる軽減こそが、定住促進効果を高める施策であり、世帯の所得要件と合わせ、是非とも検討をお願いいたします。

合わせて、社会動態の転入をさらに加速させる施策として、「安価で良質な賃貸住宅や分譲宅地の供給」を促進する政策の検討をお願いします。

平成26年度予算案、東部産業団地についてお尋ねいたします。

本契約の時期はいつごろを予定しているのか？ 準備は出来ているのか？

議会の議決が必要と考えるが、当局の見解を問う。

平成26年度予算案、都市計画マスタープランの策定についてお尋ねします。

先月開催された小矢部市都市計画審議会において「中間報告」が示されたが、第6次総合計画後期実施計画とも深く関係する重要な計画であります。

この「小矢部市都市計画マスタープラン」の策定プロセスにおいて、都市計画審議会に

おける審議と市議会への説明手続きを、平成26年度のタイムテーブルにおいて、どのように予定しているのかをお尋ねします。

東部産業団地「アウトレットパーク北陸小矢部」については、小矢部市の未来創造に向けて、大きな起爆剤となりうるものであり、その活用事業にも期待をしたい。そして又、都市計画マスタープランの策定は民間投資を呼び込む、小矢部市の将来メッセージであります。

今まで以上に議会との連携をはかる取り組みを期待することを申し上げて、会派「誠流」の代表質問とさせていただきます。

再質問

予定しますので宜しくお願いします。

小矢部市土地開発公社にて負担する用地取得費を含めた総事業費と、小矢部市が負担する総事業費は、県道小矢部伏木港線の改良を含め、開業するまでに一体いくらになるうとするのか？

三井不動産と事業用賃貸借契約する面積はどれだけになるのか？

総費用を賃貸面積で割ると、原価方式による不動産価格となる。いくらになるのか？

小矢部市は30年間の事業用賃貸借契約を予定しているが、10年での撤退は最悪のケースとなる。このときの起債残高と本市の実質公債費比率、将来負担比率は？